

救命の手順

JRC（日本版）ガイドライン2010年対応

1 意識の確認

肩をたたいて

「大丈夫ですか？」
「どうしましたか？」



2 助けを呼ぶ

119番を!!
AEDを!!

「誰か来てください!」
「119番で救急車を呼んでください」
「AEDを探して持ってきてください!」



3 呼吸の確認

胸と腹部の動きを見て、
呼吸の確認をします（10秒以内）



4 30回の胸骨圧迫

胸が5cm以上沈む程度の強さで、
1分間に100回以上のテンポで押します



2回の
人工呼吸

胸の真ん中に手のひらの付け根を置き、
圧迫します
AEDが到着するまで胸骨圧迫と
人工呼吸を繰り返します

5 AEDで電気ショック

※体から離れてください



救急車が到着するまで、もしくは傷病者から反応が出るまで心肺蘇生を続けましょう

いつでもAEDが使えるように ～AEDの日常点検～

日常点検タグの確認

● AEDは救命処置のための医療機器です。AEDが故障したら、いつでも使用できるように、AEDのインジケータや消耗品の有効期限などを日頃から点検することが重要です。	
電極パッド有効期限	年 月
電極パッド装着日	年 月
バッテリー有効期限	年 月 日
バッテリー装着日	年 月 日
※詳しくは取扱説明書またはAED点検タグをご覧ください。	

電極パッドの使用期限・
バッテリーの装着日を確認
してください。



ステータスインジケータの確認



使用可



使用不可

AED日常点検タグを
よく見える所に!



忘れないで日常点検!

AEDは救命処置のための医療機器です。AEDを設置したら、いつでも使用できるように、AEDのインジケータや消耗品の有効期限などを日頃から点検することが重要です。製造販売業者または販売業者が、設置者の保守管理の手間を軽減する独自のサービスをご用意しております。お客様の都合に合わせて、これらを利用し、いつでもAEDが使える状態にしておいてください。

● AEDは救命処置のための医療機器です。AEDが故障したら、いつでも使用できるように、AEDのインジケータや消耗品の有効期限などを日頃から点検することが重要です。	
電極パッド有効期限	年 月
電極パッド装着日	年 月
バッテリー有効期限	年 月 日
バッテリー装着日	年 月 日
※詳しくは取扱説明書またはAED点検タグをご覧ください。	

AED日常点検タグ



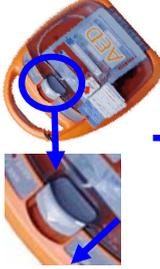


こんなときにはAED!!

- 意識がない
- 呼吸がない
- 脈拍なし(医療従事者のみ)

① ふたを開けると、電源ON!

音声ガイドに従って操作してください。音声で指示している内容が画面にも表示されます。



「成人モードです。意識・呼吸を確認してください」

未就学児の場合には
小児モードにスイッチを切り換えます

② 除細動パッドを体に貼ります



パッドに左右の指定はありません

「胸を裸にして、AEDのフタから四角い袋を取り出してください」「袋を破いて、パッドを取り出してください」
「パッドを青いシートからはがして、図のように右胸と左わき腹に貼ってください」

除細動パッドを貼ると心電図の解析を始めます。傷病者にさわらないでください。

「体にさわらないでください」「心電図を調べています。体にさわらないでください」



③ ショックボタンを押します

電気ショックが必要な心電図の場合



「電気ショックが必要です」「充電しています」



「体から離れてください。点滅ボタンをしっかりと押してください」

電気ショックが不要な心電図の場合



「電気ショックは必要ありません」



「体にさわっても大丈夫です」「直ちに胸骨圧迫と人工呼吸を始めてください」

傷病者に普段どおりの呼吸が戻った場合は、身体を横向きにして救急隊員の到着を待ちます。(電極パッドは付けたまま、AEDのフタは開けたままにして下さい。)

